

砂防事業 事後評価結果

担当課 : 徳島県砂防防災課

担当課長名 : 大和 章人

事業の概要

事業名	生名谷総合流域防災事業	事業区分	【砂防事業】総合流域防災事業(補助)	事業主体	徳島県
事業箇所	勝浦郡勝浦町石垣	箇所名	二級勝浦川水系生名谷川		
事業概要					
透過型砂防堰堤 1基(H=11.5m L=44.0m V=1,800m ³), 流路工 L=40.0m					
事業の目的・必要性					
<p>本溪流は、平均河床勾配が1/5の土石流危険溪流である。流域内には崩壊跡・浸食跡が確認され不安定土砂が堆積しており、出水時に土石流が発生すると下流の人家、一般県道と喰勝浦線、避難所に指定されている公民館等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。このため砂防堰堤工及び流路工を施工することで土砂災害を抑制し、国土を保全し、民生の安定を図るものである。</p>					
総事業費	192 百万円				

事業概要図・写真



生名谷総合流域防災事業







事業評価結果

	評価項目	評価内容
事業効果等	①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	・計画全体事業費180百万円 → 精算全体事業費192百万円 計画工期H21年度～H25年度 → 実施工期H21年度～H26年度 着手時B/C 11.5 → 完成時B/C 14.3
	②事業の効果の発現状況	・砂防堰堤の完成に伴い土砂災害による被害が軽減された。 ・人家40戸、一般県道と喰勝浦線、防災拠点である消防団詰所、避難所に指定されている公民館が保全され、災害時の避難場所が確保された。 ・ソフト対策である土砂災害警戒区域の指定と併せて、地域の総合的な防災力の向上が図られた。
	③事業実施による環境の変化	・一定以上の堆砂を除石する管理型砂防堰堤を採用することにより、堤高が抑えられ景観に配慮できている。
	④社会経済情勢の変化	・H26.8月に発生した広島豪雨災害により土砂災害に対する防災意識が一層高まっている中、当事業の実施においては土砂災害に対して地域の安全や避難路を確保しながら、土地利用や保全対象に影響を与えることなく、防災面の向上に寄与している。
	⑤課題と今後の事業への反映	・当該箇所は施工時の湧水対応に時間を要した。今後は施工の視点に立った十分な事前調査を行い、スムーズな工事の施工を図る。

費用対便益	区分	基準年	B/C	総費用(百万円)		総便益(百万円)	
	着手時	平成21年	11.5	162	工事費	1,868	人家40戸、道路1000m、公民館1、消防団詰所1
完成時	平成27年	14.3	223	工事費	3,178	人家40戸、道路1000m、公民館1、消防団詰所1	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。
 ※保全対象については、着手時は概略調査、完成時は詳細調査結果に基づいているため、現地状況により数値が異なる場合がある。